

東京都江戸東京博物館

事業名	会期	概要
NHKスペシャル関連企画「大江戸」展	平成30年4月1日～5月13日	「大江戸」という名が史料に現れるのは18世紀中頃、推定人口100万人を超えたあたりからです。それ以前は小さな城下町だった「江戸」は、いかにして、政治・経済・文化の中心都市「大江戸」へと発展していったのでしょうか。本展では、「江戸のなりたち」「絵図」「火事」「水辺」「写真」の5つの視点から、「大江戸」の繁栄の歴史を追い、特性を考えます。
「発掘された日本列島2018」	平成30年6月2日～7月22日 21時まで特別開館：7月20日	全国で毎年約8,000件行われている発掘調査の中から、特に注目された出土品を選びすぐって紹介します。装飾古墳を特集するほか、6世紀初頭の榛名山噴火で被災した「甲と着た古墳人」が発見された金井東裏遺跡出土品などを展示します。
東京150年記念「首都東京の150年展」	平成30年8月7日～10月8日 21時まで特別開館：8月10日、17日、24日、31日	東京誕生から150年の節目の年に、東京の歴史を幕末から明治・大正・昭和と画期となる出来事を踏まえながら通史的に振り返ります。
「玉ー古代を彩る至宝」	平成30年10月23日～12月9日	『日本書紀』編纂から1,300年の節目となる2020年に、古代歴史文化にゆかりの深い14県と連携して、国宝・重要文化財を含む全国から選りすぐった玉の世界を紹介します。古代の玉が果たした歴史的役割と、日本古代の美意識の結晶ともいえる玉の魅力を分かりやすく展示します。
「徳川宗家」	平成31年1月2日～3月3日	公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川将軍家に関する資料を、毎年特定のテーマに基づいて紹介します。本年は徳川将軍家ゆかりの雛人形類を展示する予定です。
「市民からのおくりもの2018」	平成31年3月19日～5月6日	近年新たに収蔵した資料を厳選して紹介する展覧会です。寄贈者に謝意を表すとともに、博物館の資料収集及び保管活動も伝えます。

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

※上記事業は5階企画展示室(常設展示室内)で実施します。特別展示室は改修工事のため平成31年3月末(予定)まで休室

※「東京150年記念」について

平成30年は、江戸から東京への改称、東京府開設から150年の節目の年です。東京都では、これを記念し、東京の魅力を内外にPRする「Old meets New 東京150年」事業を展開しています。

＜お問い合わせ先＞

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-8001

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>

※ 開館時間：9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館）

※ 休館日：毎月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始